システムの詳細

製品名	利用対象	製品の機能	関連 AI システム
Kestrel ケストレル 医療商材物流管理	資材部 部署・病棟	・発注／入荷／払出／消費／棚卸 ・GS1 バーコード対応 ・ロット・シリアル・ユニーク管理 ・トレーサビリティ担保	・物流問い合わせ（やまびこ） ・定数最適化（みはり） ・物品問い合わせ（さえずり）
Condor コンドル 薬剤物流管理	資材部 薬剤部	・薬剤の仕入／在庫／請求／払出 ・定数管理・後追い発注 ・薬剤部－各部署間連携	・物流問い合わせ（やまびこ） ・定数最適化（みはり） ・物品問い合わせ（さえずり） ・禁忌チェック（たかのめ）
EaGle イーグル 手術室管理	手術室	・手術オーダー～術後の一元管理 ・術中記録の電子化 ・消費実績のバーコード記録 ・HIS ／物流システム連携	企画中
Falcon ファルコン カテーテル手術室管理	カテーテル室	・高額医療材料の使用履歴／予定管理 ・カテ台帳の電子化 ・HIS ／ RIS 連携 ・消費実績の物流システム自動反映	企画中
BirdEye バード･アイ 経営可視化	経営層	・手術件数・手術収支分析 ・受払・在庫動向分析 ・前日締めデータの可視化 ・複数システム横断集計（BI）	企画中
Hawk ホーク 総合物品マスタ	情報 システム部 資材部	・院内物品・薬剤マスター元管理 ・システム間コード／名称統一 ・部門システムへのマスタ自動配信 ・契約情報管理	企画中

やまびこ AI ロジスティクスナビ

商材 薬剤

音声認識 AI での
物品の在庫・受払照会

みはり AI 定数ナビ

商材 薬剤

物流動向を反映した
在庫定数自動管理

さえずり AI ナレッジナビ

商材 薬剤 開発中

対話型 AI での
物品・薬剤詳細情報検索

たかのめ AI 処方セーフティナビ

薬剤 開発中

薬剤処方詳細の
AI 禁忌チェック



ぜひお問い合わせください。
いつでもご説明させていただきます。

株式会社DynaxT
ダイナックス・ティ

〒761-0301 香川県高松市林町 2217-6
TEL: 087-887-8881 / FAX: 087-887-8889
MAIL: medical-all@dynaxt.co.jp
WEB: https://dynaxt.co.jp

詳しくはこちら

株式会社DynaxT
ダイナックス・ティ



東京大学 計数工学科卒
DynaxT 代表取締役社長
前 香川大学 客員教授
元 高松高等予備校 理事長
大和田 昭邦



東京大学 工学系修士
DynaxT 顧問
前 日本IBM 専務取締役
前 東京大学特任教授
冨永 章



筑波大学 博士
（システムズ・マネジメント）
DynaxT 顧問
ZEN大学 教授
筑波大学 客員准教授
木野 泰伸

DynaxT-Medical

DynaxT-Medical は、長年のシステム開発で培った確かな技術で、
病院に安心と安全を届けます。
現場を圧迫する間接業務を、AI が引き受けることで、
医療スタッフが本来の仕事に集中できる病院づくりに貢献します。

DynaxT-Medical 沿革

1986 株式会社ダイナックス高松 設立。ITシステム受託開発とAI研究会を開始
1991 電力系システムの受託開発を開始（現在までに約500システム）
1996 全国に先駆けて、オールJavaで基幹系システムを構築
（日本サン・マイクロシステムズと協力）
2006 大手自動車メーカーのサプライチェーン管理を受託
2010 医療物流パッケージを開発、全国展開を開始。香川大学工学部とAI研究会を発足
2011 病院へのシステム導入を開始
2012 社名を株式会社DynaxTに変更
2014 物品マスタ管理「Hawk」経営可視化「BirdEye」手術室管理「EaGle」が完成
2015 薬剤物流管理「Condor」、カテーテル手術室管理「Falcon」が完成
2024 DynaxT-MedicalにAIを導入して抜本的に機能強化
2025 自社で一から開発した医療商材物流管理「Kestrel」が完成
2026 AI搭載の新規システムを提供開始

導入実績
全国 7 県
30 システム

大学病院から公立・民間病院まで、300床以上の病院への導入実績があります。
千葉県（大学病院） 愛知県（公的病院） 滋賀県（県立病院） 岡山県（民間病院）
高知県（大学病院） 福岡県（民間病院） 沖縄県（民間病院）

搬送用ロボット

医材搬送用カートを自動で判別し、
指定の部署まで自動で運ぶ、搬送ロボットを開発中



医療情報学会

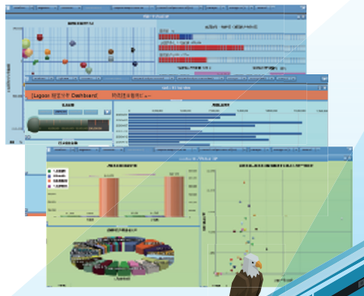
第 46 回医療情報学連合大会（札幌） 11/14(土)
8:00~9:00 のモーニングセミナーにて発表



データとモノの流れをつなぎ、
病院全体の業務と経営を最適化する。

こんな課題はありませんか？

① 物品のコードが、部門ごとにバラバラ
② 在庫管理や、発注・棚卸の手間が大きい
③ 高額材料の記入漏れで、医事請求が追いつかない
④ 手術や購買の収支がわからず、コスト管理不能
⑤ 物品・薬剤の問い合わせで、業務が圧迫される
⑥ 薬剤禁忌のチェックや物品情報の確認が大変



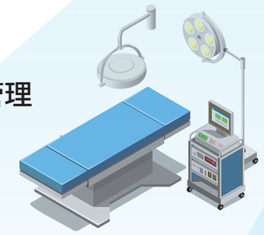
Bird Eye
経営可視化

- 病院全体のデータを横断分析
- 手術件数や手術収支を可視化
- データに基づいた決断を高速化

モノの流れ　情報の流れ

EaGle 手術室管理

- 手術計画から実績まで一元管理
- 手術記録・消費実績を電子化
- HIS・物流システムと連携





経営データの分析

Hawk
統合物品マスタ管理

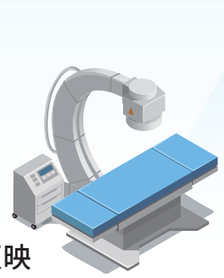
- 院内の物品・薬剤マスタを一元管理
- システム間のコード・名称を統一
- 各部門へ最新マスタを自動配信



物品の総合マスタ

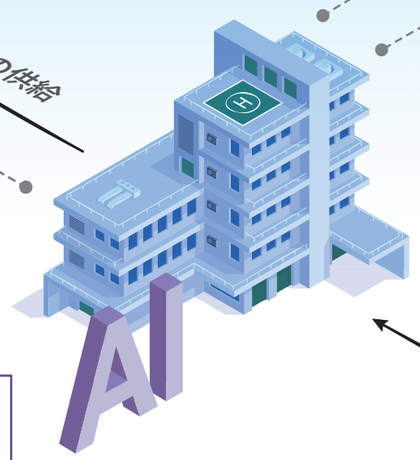
Falcon
カテーテル手術室管理

- カテーテル検査・実績を一元管理
- 消費実績を物流システムへ自動反映
- HIS・RIS との連携に対応



商材・薬剤の供給

治療記録・実績



消費記録・実績

商材・薬剤の供給

Condor
薬剤物流管理　AI機能搭載

- 薬剤の入出庫・在庫を一元管理
- 払出・補充・発注業務を効率化
- 薬剤部と各部署をシームレスに連携

Kestrel
医療商材物流管理　AI機能搭載

- 入庫・払出・在庫をリアルタイム管理
- GS1 バーコードによるトレーサビリティ
- 発注・補充・棚卸業務を効率化

音声認識 AI での物品の在庫・受払照会

- 在庫・受払・使用量をその場で照会
- 解決しない質問だけ担当者へ引継ぎ
- 対応履歴を分析して問題を見える化

物流動向を反映した在庫定数自動管理

- 物流動向を監視し AI が払出・消費等を分析
- 安全在庫を保持した最適定数を推測・提案
- 月 1 回などの見直しで不良在庫を縮小

対話型 AI での物品・薬剤詳細情報検索

- 物品・薬剤の詳細について AI が調べてその場で回答
- 解決しない質問だけ担当者へ引継ぎ
- 対応履歴を分析して問題を見える化

薬剤処方詳細の AI 禁忌チェック

- 電子カルテではカバーできない独自運用・ローカルルールも人と AI で同時にダブルチェック
- 怪しい処方を重点的にチェックできます

※「DynaxT-Medical」シリーズ（各 AI 機能を含む）は、医療機関の業務効率化・経営可視化を支援する業務管理システムであり、プログラム医療機器ではありません。